

★目的意識は持ったほうがいい

□ : 中国留学終了者の声 □ : 中国留学中の方の声

時間は限られている

時間が限られていることを自覚して、現地を満喫してください。(語学+専門、政府奨学金)
時間はあっという間に過ぎていくので、一瞬一瞬を大切に、何事にもチャレンジしてみることが大切だと思います。(語学、交換・派遣)
現地では留学の目的を常に意識して行動することが大切だと思う。中国は日本と違い時間がゆっくり流れている感じなので、のんびりゆったり過ごしがちになり、気づいたら留学期間終了となってしまう。(語学+専門、政府奨学金)
半年や一年の人が大半だと思いますが、留学は思っているよりもすぐに終わってしまいます。後悔の無いように、一日一日を楽しんでください。(語学、政府奨学金)
生活や学校の授業に慣れたら、きちんと目標を立ててそれに向かって細かく計画を練り、それに従って毎日を過ごすようにしてください。そうでなければ、半年も1年もあっという間に過ぎてしまい後悔することになってしまいます。(語学、政府奨学金)
日記をつけ、1日1日を大切にすごすこと。(語学、交換・派遣)
目的の無い、安易な留学は避けるべきです。得られる成果は、準備に比例します。日本での基礎学習が大切です。(語学、私費)

帰国後の自分に備える

就活の時期に、中国語の強さを知ることになると思うので、それを念頭に、しっかりと自分の強みとしての語学を身につけられる留学にした方が良いと思います。僕の住んでいる県は地方都市ですが、それでも十分に中国語は強みとしてアピールでき、念願の就職希望先に入ることができました。また、中国は日本より物価が低い分、遊びがちな人もいましたので、周りに流されず、やはり自分の目的をしっかりと持ち、自分を高め続けることが、帰国後の自分につながると思います。(語学、私費)
1年前後の留学であれば、事前の情報収集・語学力の強化、留学の目的や計画を明確に決めておくことで、充実度がかかなり変わると思う。ただ、あまり型に嵌らず、心に余裕を持つのも大事。机上の勉強に限らず、現地の友人を沢山作り、なるべく多くの地域を回ってみると、中国についての理解がより一層深まる。中国は広いし、色々な文化や考え方の人がいる。大学内の一部の学生と接しているだけでは、本質は見えてこない。積極的に知見を広げ、知識や語学力だけでなく、人間的な成長を目指して欲しい。(語学+専門、政府奨学金)
語学の他に、何か一つ専門分野の勉強をする予定を立てること。(語学+専門、政府奨学金)

目的意識を持つように

目的意識を持つのがよいと思います。(専門、政府奨学金)
目的意識・目標を持って生活すること、帰国後の進路をよく考えること(語学、私費)
目標を持って留学したほうが良いと思います(語学、私費)
目的意識を強くもって、好奇心をもって大学の外に出て行って、多くの人と関わる中で、広い視野、寛容性を育てて欲しい。(語学+専門、政府奨学金)
留学する前に自分の中で明確な目標を立てることが必要だと思います。私は目標を立てることで毎日目的意識を持って有意義な時間を過ごすことができました。また、日本とは環境が違うので、体調管理は自分でしっかりとすることが大事だと感じました。(語学、交換・派遣)
しっかりと目的意識をもって、叩かれる事責められる事を恐れず、色々な階層の人達と話し、経験を積んでほしいです。そして中国を好きになって帰ってきてほしいです。(語学+専門、私費)
やる気を持って行くべき。中国語は興味がないと習得できないと思います。(語学、交換・派遣)
行く前に大目標を具体的に設定する。そして、それを達成するための小目標を複数設定し、一つずつクリアしていく。状況に応じて各目標を修正しながら、常にこれを繰り返すことが大切だと思います。(専門、政府奨学金)
自分の夢をあきらめないこと(専門、私費)
海外生活に慣れるまでに一定の忍耐力と根気があれば、きっと自分を磨けます。(語学+専門、私費)
留学の目的をはっきりとさせること。授業以外の時間がとても多く、その使い方が有意義であれば留学をもっと充実させられる。あと何事も積極性が大事。(語学、政府奨学金)
留学前に留学の目的を明確にさせておく方が良いと思います。(専門、交換・派遣)
明確な目的を自分の中に持つことです。(語学、政府奨学金)

★目的意識は持ったほうがいい

なんとなく勉強しているような気になる

語学留学の場合は留学先の学校にもよるかもしれませんが、基本的には現地の先生は日本の学校のように生徒をいちいち気遣ってくれませんし、語学力の進捗も漢字をみて分かった気になってしまいがちですが、半年・一年の語学研修生レベルではそこそこの日常会話が交わせる程度で、ビジネスでは使えないと思います。留学生生活だけで仕事で使うまでのレベルに持っていくには、相当な自身のモチベーション維持と経済力とのせめぎ合いになると思いました。語学留学を経て現地の学生になったほうがいいですが、時間とお金が相当必要だと思います。特に自分は社会人を一度辞めて自費で留学したのですが、育英会の返還費も残っていたのを1年延期していただいたほどお金がないなか、なかなか語学力は身につかないはで焦るばかりでした。(語学留学、私費)

現地へ行くと、そこで生活上のコミュニケーションがあり、またネイティブの友人と交流している事により、なんとなく、そこで過ごしているだけで勉強しているような錯覚に陥っていたように思います。語学力を目的として留学する場合、具体的な目標レベルを設定することをおすすめします。(語学、私費)

どのような留学スタイルが正解かは人によって異なるのでわかりません。しかし間違いなく言えるのは「留学してみないとわからない」ということです。不安もあると思いますが思い切って行くことが最も重要です。しかし留学して実感したのは「留学しただけでは語学は上達しない」ということです。楽観的な意識では失敗すると思います。行ってどのように勉強するか、モチベーションをどのように維持するかしっかり考えるべきだと思います。(語学、政府奨学金)

留学前や留学中に中国語を勉強する機会は必ずあるが、「どういうレベルの中国語スキルを習得するのが目標か」を明確化した方が良くと思う。そうでないと、いくら現地で学習しても達成感が得られないからである。(語学+専門、政府奨学金)

だらけてしまうパターン

観光気分で来ている学生も中にはいるので、つられて遊びすぎでしまわないよう気を付けてください。食事は合わないことが多いと思うので、こだわりのある人は自炊できる寮のほうがいいのかも知れません。(語学、私費)

はっきりした目的を持って留学すること、そして留学期間が終了した後のこともイメージをできるだけ明確にしておくことを勧めます。留学期間を終えて、日本へ戻ってはきたものの・・と言う人を多く見かけますので。(語学+専門、政府奨学金)

留学は、楽しいです。楽しいので、ついつい学業よりも遊びに一生懸命になってしまうことがあります。遊ぶことも大事です。海外に長期滞在する、それだけでも貴重な体験をする事ができます。でも遊んだだけにならないよう、留学前に目標をしっかりと決めて臨むことが大切だと思います。(語学+専門、交換・派遣)

現地に行くといつだらだらしてしまいがちなので、具体的な目標や計画を立てて行っていただきたいです。(語学+専門、政府奨学金)

学校内だけでなくとどまらず、現地の様々な活動や観光などに参加すること。・予習・復習はしっかりやること。楽をすればいくらでもできてしまうし、そのような学生が周りには多いが、流されないこと。(語学、政府奨学金)

ひたすら中国語を学ぶだけの授業が続くので、飽きてきたり、だれてきてしまったりもします。それに負けない忍耐力、気持が必要だと思います。(語学、交換・派遣)

勉強と友達どっちをとるか!!!外国人は結構酒好きな人が多いから、平日でも徹夜でクラブに出かける。。。誘われた時に、何回も断ると呼ばれなくなる。。。その時どうするか????(語学、政府奨学金)

留学生活中は、いかに息抜きをするかが肝心だと思います。日本と中国とでは何もかもが違います。食事、気候、習慣の違いに慣れるまで、肉体的にも精神的にも辛いものがあります。私の場合は、友人たちと朝方まで飲み明かすことで、ストレスを発散させています。特にナイトクラブは、外国人に限らず、中国の若者にも大変人気があり、週末は人で溢れ返っています。平日は人一倍勉学に励み、週末は一切教科書に手をつけたいといった感じで、生活にメリハリをつけてやるのが重要だと思います。(語学+専門、政府奨学金)

マイペースに

自分を客観的に判断できる力が大切だと思います。本科や研究生ではなく、ただの語学留学生であれば、半年だと少し短かく感じると思います。1年程度がベストで、それを越えるとモチベーションが緩んでくると思います。力み過ぎず、緩め過ぎず、生活管理もしながら勉強もすることになります。ハードルは低めに、着実に過ごしたいものです。(語学、私費)

行く前に自分がたてた計画がうまくいかなくても、知らないうちに色々なことを学べているので、あせらず勉強するのがいいかな、と思います。と、自分に言い聞かせています。(語学+専門、交換・派遣)

★目的意識は持ったほうがいい

留学は自分の固定観念を覆し視野を広げる絶好の機会です。もちろんはっきりとした目標をもって留学するのが一番いいですが、たとえ将来に対してあやふやな状態であっても、興味があれば勇気を持って挑戦したほうがいいと思います。留学の経験は一生の財産になります。(語学、交換・派遣)

HSKを活用する

日本語を学ぶ中国人との相互学習は効果的。・HSKはなるべく多く受けて、目に見える成果を挙げること。(語学、政府奨学金)

留学前にHSKなど資格試験の時期を検討し、一年、もしくは半年の期間内に具体的に目標を立て留学されると良いと思います。生活環境は学習にも影響してきますので、単に学生の数、日本人の数だけでなくその学校の立地条件や交通状況なども検討されるべきだと思います。(語学、政府奨学金)